

■ 平成30年度 区政懇談会（下山地区）

日 時：平成30年6月3日（日）

13:00～14:30

会 場：下山コミュニティハウス



（発言）

少額の補助金であっても、申請書、実績報告書、写真などを添付することが必要で、自治会にとっては事務が非常に大変である。世帯数に応じた事務委託料や防犯灯の補助金も含めて一括交付金化し、後で業者に支払った領収書を提出して報告を行うようなかたちにしていただきたい。

（回答）

地域向けの各種補助金制度は、制度ごとに担当課や窓口も違うし、手続きも煩雑とのお声をいただいている。平成29年度の区政懇談会、まちづくりトークでも同様の発言をいただいた。市からの交付する補助金は、申請や実績報告などの手続きが煩雑であるとの声を頂く一方で、区政懇談会などでは、税金を財源としている中、提出された申請書類をもう少しきちんと審査すべきといった声も頂いている。制度ごとに窓口が異なるほか手続きが煩雑で、類似しているものもあることは、市でも改善すべきであると考えている。

そこで平成29年度、庁内で地域向け各種補助金制度の検討を行い、七つの事業を地域活動補助金と統合した。提案にあった交付金制度だが、一括交付金を算定するための基となる基礎数字で、世帯数や高齢者数、防犯灯の数を自治会・町内会ごとに提出していただく必要があることや、実績報告書の提出、精算書の提出といったものも必要になってくる。必ずしも地域の皆様の負担が減るとは限らない。しかし、まだまだ煩雑な面はあると考えているので、市ではなおも皆様の負担軽減を図るため引き続き、市民の利便性の向上、補助金目的、内容の整理を観点に検討を続けていくこととしている。また、地域の皆様からそのような声があることは、区からも本庁にはなおも伝えていきたい。

（発言）

平成25年ごろから一括交付金の話をしているが、一向に進んでいない。いつも補助金の交付規則があるから難しいという回答である。既存データや防犯灯の数、世帯数は全部各区で把握しているはずだ。それに基づいて、世帯数や住民票を全部拾い出せば、数値はすぐ出るので

可能ではないか。補助金や助成金が細分されているから、職員がたくさんいるのではないかと感じる。思い切って50万円未満を交付金にすれば、そういったことも一度に省けるかと思う。

(回答)

補助金交付規則がこのようになっているからとは理由にならない、制度は変えられるはずなので、必要があれば新たな制度を組み立てて、直すべきだと思う。また職員の労力も減るはずである。市でもなお検討していくことを続けている最中なので、少々お待ちいただきたい。

(発言)

地区自治連合会とコミュニティ協議会は各地区にあるが、**自治連合会とコミュニティ協議会の役割分担が不明確**である。自治連合会の役割、コミュニティ協議会の役割分担について教えていただきたい。

(発言)

かつては自治連合会が主体となって行ってきた行事が多くあった。それが最近になり、コミュニティ協議会主体の行事に変わりつつあることから、自治連合会とコミュニティ協議会の関連は、明確に一線が引かれているのかどうか教えていただきたい。

(回答)

市は政令市移行に伴い分権型政令市を目指して、平成17年に小学校区を基本単位とするコミュニティ協議会の設立を地域の皆様に提案した。コミュニティ協議会の結成は、地域の実情に即した形で柔軟に取り組んでいただいております。自治会町内会を中心として様々な組織団体が参加している。その後、平成27年に新潟市地域コミュニティ協議会に関する要綱ができ、コミュニティ協議会の位置づけ、役割が明確化した。

一方、自治連合会だが、自治会町内会の相互の協力と連携のもとに地域の発展に寄与するための組織と認識しているが、予算、活動の面で活発な団体がある一方、防犯灯や集会所の管理のための組織である場合もあり、市としては定義づけを行っていない。下山自治連合会はコミュニティ協議会の一つの構成団体として位置づけられており、非常に活発な活動が行われているが、区内のほかの地域では、コミュニティ協議会の結成後、発展的解消を行った自治連も多くある。区としては、結成状況や活動の状況は把握していない。地区の自治連合会とコミュニティ協議会の役割分担や運営は、あくまでも地域の皆様で話し合い、よりよい方法で行ってい

ただきたい。区で2か月に一回、各コミュニティ協議会の会長が集まる連絡会がある。連絡会の中で様々情報交換も行われているので、他のコミュニティ協議会の状況を聞いたり、意見交換することも有効ではないかと思っている。

(発言)

区としては、自治連合会とコミュニティ協議会は、それぞれ地域ごとにお任せする。逆に言えば自治連合会が消滅し、コミュニティ協議会に統合されていく傾向だろうか。

(回答)

区が主導しているわけではないが、発展的解消を行った自治連も多くある状況である。これは地域で考えられたうえでのやり方だと思う。

(発言)

下山地区では平成23年に自治連の自主防災組織ができたが実質的な防災訓練は実施してこなかった。また、コミュニティ協議会でも行っていない。防災訓練には補助金が出ており、いろいろな準備ができたはずである。

下山小学校では井戸や発電機があり食料の備蓄基地にもなっている。屋上にプールがあるのでトイレの問題にも対応できると聞いている。

下山中学校は何もない、施設があるだけであると聞いた。私共の自治会は下山小学校が避難所だったが、下山中学校に変更になった。その様な地区割りなど災害に関することは自治連で考えるべきであるのに行われていないのが実態である。二つの組織があることによって、お互い機能をはたしていないのではないかと思い質問した。

(回答)

下山地区は、下山小学校と中学校とスポーツセンターがまとまって立地しており、すべて避難所として指定されている。地区割りの話もあったが、収容人員としては十分だと思うが、施設の新しい古いがあるので、そこの地区割りは話し合いをお願いしてきて、少し整理がされてきていると考えている。また、このエリア全体が避難所エリアだととらえていただくようお願いしているところだ。

自治連とコミュニティ協議会の役割分担というお話だが、防災の切り口で言えば、目的は一つなので有効な形をご検討いただきたい。

(発言)

下山地区においては自治連合会長イコールコミュニティ協議会の会長である。そこにも問題があると思う。コミュニティ協議会は様々な組織、地域づくりの組織の専門のプロがいるわけだから、その中からコミュニティ協議会の会長を選ぶべきである。自治連合会の会長とコミュニティ協議会の会長はイコールにならないほうがよい。切磋琢磨するためには、それくらいのことを行ってもよいと思う。

(回答)

コミュニティ協議会の中で会長を選ぶ場合、どういう立場でうちのコミュニティ協議会は会長を出すかは、コミ協の中で考え、意見交換をし、ふさわしい人を選んでいただくことがよろしいと思う。防災訓練に関しても、どのような形で行うかは、コミ協によって様々だと思う。区からこのやり方が一番よいとは申し上げられない。

(発言)

河渡中央公園は駐輪場があるが、スペースが狭く、5台くらいで満車になる。駐輪場が狭いので拡張していただきたい。また、子ども達が遊歩道を自転車で突っ走っているため危険である。乗り入れ防止を徹底していただきたい。

(回答)

自転車で公園を利用される方が多数いるため、駐輪場が不足していると認識している。そのため駐輪場の増設を検討している。増設する場所や規模は、後日、建設課から相談させていただき決めたい。

そのほかにも駐輪場を示す看板を分かりやすい場所に移すことも考えていきたい。また、利用される地域の皆様からも、公園を利用する子どもたちにも、自転車は駐輪場をはみ出さないように、突っ走ってはいけないなど、もしお気づきの点があれば、皆様からも声をかけていただけると幸いです。工事は、できれば今年度中に行いたいと思う。

→9月発注予定

(発言)

建設課長から説明のあった**自由こう配側溝**とは、どういう意味だろうか。

(回答)

基本の側溝は断面がアルファベットのU型に見えることから、一般的にU型側溝と言われる側溝である。自由こう配側溝も基本的には同じ能力を持つが、逆にU型側溝をひっくり返し、初めからふたがついているような形で、下は逆にあいている。そこにコンクリートで高さの調整をし、水の流れのこう配を自由にするので、自由こう配側溝という名称になっている。自由こう配側溝はふたの枚数が少ないこともあり、もともと上に被っている関係もあるから、コストが低く抑えられるため、U型のブロック側溝に代えて自由こう配側溝で対応しているところである。今回の側溝改良も、自由こう配側溝に変えることを予定している。

(発言)

清掃するときに、片側しか穴みたいなものがないが、ふた開け機を使うことができるのか。

(回答)

穴は片側1箇所にあるが2枚つながっているので、2枚の欠けているところを両方使っていただくと、ふた開け機を差し込むことができる構造になっている。

(発言)

新川地区の舗装工事が今年の10月から第2期工事になるがこの道路を利用し通学路にしようと思っている。そこをスクールゾーンとしてカラー舗装できるのか。また昨年1期工事で舗装済みの部分もカラー舗装にすることは可能か。学校は自治会が要望するのであれば通学路にすることは可能だと言っている。

(回答)

また工事のときに会長のところにおじゃまし話を伺って、対応できるかどうかも含めて、相談させていただきたい。

→8月17日に工事前の挨拶に伺った際に、上記内容について当該路線の通学路化を学校側が了承している旨の話があった。工事期間中に通学路指定が実施されれば可能であるが、その期間となった場合は単独で建設課に要望いただくよう依頼した。

(回答)

通学路の設定は、警察と区の建設課と区の中に東区教育支援センターという教育委員会の機関があるので、この3者に総務課も一部立ち会い、安全点検や全体的な安全プログラムを策定している。地域の方々から学校にまた要望を伝えていただきたい。区では要望を伺ったので検討が進むようにしたい。

(発言)

自由こう配側溝はふたを開けて清掃するとき、相当重量がある。以前自由こう配側溝にした部分は、ふたを開けて清掃をしたことがない。相当な重量なのだがどうすればよいか。

(回答)

側溝ふたは自由こう配側溝でも、U型の側溝でも、基本的にはほとんど重さは変わらない。地域の皆様に掃除していただいていることは、非常に心苦しいところではあるが、何枚かに1枚グレーチングといって、鋼製の目皿にしてあるので、そういうところを利用していただきながら掃除していただくことをお願いしたいと思う。

(発言)

じゅんさい池公園の東池で排水ポンプを設置するという説明があったが、西池でも何か作業をしているようである。区で行うのは東池だけなのか。

西区で小学校の悲惨な事件があったが、防犯カメラを通学道路や公園などモデル的に設置するようなお考えはあるか。

(回答)

防犯カメラを地域でつける場合、既存の補助金を利用することも可能だが締切が5月末となっている。それ以降でも要望があればお聞かせいただきたい。区として地域の声を本庁にあげていく。しかし、市長も市報で書いているが、防犯カメラはあくまで見守りを補完するものとお考えいただきたい。

市でつけているのは、不特定多数の人がいらっしゃるような公共施設に限られる。

(発言)

2002年にじゅんさい池は市の都市景観賞をもらっている。京都の円山公園から移植した**3本のしだれ桜があるが、3本とも病気である**。しだれ桜を見に来る人が多いので、対応していただきたい。

(回答)

しだれ桜は、こうやく病になっている。現地へ行った方はご存じだと思うが、桜が病気にかかっているという看板を立てさせていただいているし、根元の近くに行けないように3本とも周囲を囲って入れないようにしてある。しだれ桜だけではなく、ほかの花も、これから管理をしっかりとやらせていただこうと思っている。

もう一点、先ほどお話しあったじゅんさい池のことだが、私どもで行っているのは、東池だけ考えており、西池は、恐らく池の水をポンプで上げる作業をしているだけだと思う。東池で行っている工事の結果を検証しながら西池については今後検討する。

(発言)

支え合いのしくみづくり2層協議体としてコミュニティ協議会に年間90万円の費用が区から出ているが、その90万円の支出項目を知りたい。何に使うことが可能であるか。

(回答)

支え合いのしくみをつくるにあたって、その地域でこういったニーズがあるかをまず把握する必要があるので平成29年度はその調査費や体制をつくるための事務所の経費に充てるコミ協が多かった。しかし、この90万円は直接の事業費には充てられないことになっている。細かい話はまた健康福祉課までお問い合わせいただきたい。

(発言)

河渡中央公園の公園愛護会として有楽3丁目で清掃を請け負っている。不審火が多いため区で防犯カメラをつけていただけないかという要望を出したところ費用がかかるので無理だという話だった。補助金でつけられるという話だが、一機いくらくらいするのか。

(回答)

安いもので10万円くらいのももあるようだが、様々な機種があるようなので、その辺は安いものから高いものまで様々あるのではないかと思う。

(発言)

夏になると不審火が多く、自治会で巡回をしているが犯人を捕まえることができない。もし補助制度を利用できるのなら相談に伺いたい。松林なので火が付けば周辺に燃え広がる恐れがある。

(回答)

地域の方としても非常に心配されているところだと思うが、現在のところ建設課では、公園にカメラをつけている例がない。

(回答)

防犯カメラで地域課から1点お話しさせていただきたい。

地域で防犯カメラを設置する場合は地域の合意や取扱要領の作成が必要となる。防犯カメラの購入も対象となる設備整備補助金は5月末が締切となっているが、西区の事件を受けて今後締切をのばす、新たに制度を新設するといった情報があれば、区からご案内させていただく。

また、地域の要望が大きければ制度化につながる可能性があるので、本庁にも伝えていきたい。

←7月30日に、地元自治会長他3名が東区役所に来庁され、以下の要望をいただいた。

- ・公園管理者として防犯カメラを設置して欲しい。予算的に難しいのであればダミーカメラでも一定の効果があると思っている。
- ・建設課長に報告して、東区全体のこととして課長会議などに諮ってほしい。
- ・本日の要望に対して回答が欲しい。時間がかかるようであれば途中経過を教えて欲しい。

←東区で検討した結果、ダミーカメラはいずれダミーであることが分かってしまうので設置不可とし、人が近づくと点灯するソーラー式のライトを設置することで、地元自治会と相談する予定とした。